

南丹市内のバス交通の現状と課題

平成 28 年 8 月 15 日時点修正 地域振興課 交通対策係

園 部 地 域

◆八田線（京阪京都交通）

《運行区間》 園部駅西口－八田－亀岡駅

《運行方式》 民間運行：国庫補助路線（南丹市・亀岡市補助：11/20 格上・査定補助）

《運行本数》 11 本、12 本

《利用者層》

- ・農芸高校生徒の通学利用。
- ・公共交通でるり溪へ行く観光客が利用。八田でぐるりんバスに乗り換えが必要。
- ・大谷地域の園部中学生の登下校に利用。
- ・その他、沿線地域住民の生活交通として利用。

《利用状況》

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
利用者数（人）	115,042	111,651	110,638	108,029	105,638	103,485

→年々利用者が減少している。

《経費》

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
補助金額（千円）	1,814	1,769	1,694	3,378	4,016	4,746

→年々大幅に補助金額が増加している。

《課題》

- ・利用者の減少。
- ・農芸高校生徒の通学利用数に左右される部分が多い。
- ・利用者減少→運行収入の減少→沿線市の補助金額の増加に繋がっている。

◆園篠線（京阪京都交通）

《運行区間》 園部駅西口－天引－福住

《運行方式》 民間運行：府補助路線（南丹市・篠山市補助）

《運行本数》 5 本、4 本

《利用者層》

- ・市街地区域内（園部駅西口－横田）の移動は、他の路線と同様に市街地間の短距離を移動するために様々な層の利用がある。
- ・栄町バス停では、聖カタリナ高校生徒の利用がある。
- ・横田バス停は、天引地域の園部中学生が登下校に利用しているが、下校パターンの一部で合わなかったためダイヤ改正（平成 27 年 11 月 24 日）にて改善した。
- ・地域内の公共交通が園篠線のみ地域は、「仁江－るり溪口」間の地域であり、自家用車を持たない方（特に高齢者）の生活交通として機能している。

《利用状況》

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
利用者数 (人)	11,388	11,178	9,207	7,897	8,446	7,888

→年々利用者が減少している。

《経費》

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
補助金額 (千円)	2,763	3,008	3,388	3,488	5,424	5,619

※実質南丹市負担額（事業者への補助金交付額－京都府補助金充当額）

※平成 26 年度、27 年度に金額が大幅に増加しているのは、平成 25 年度に更新した車両分。

→年々補助金額が増加している。

《課題》

- ・利用が減れば補助金額が増加し、さらに府の定める基準を下回れば府補助金が減額されその分市補助金額が増える。
- ・このまま減少し続ければ存続が危ぶまれ、特に地域の公共交通が園篠線のみ地域の生活交通の確保ができなくなる。

◆園部八木線（京阪京都交通）

《運行区間》 園部駅西口－吉富駅前－南丹病院

《運行方式》 南丹市単独で運行委託 ※園篠線の回送を利用して運行している。

《運行本数》 2 本、2 本

《利用者層》

- ・園篠線で園部駅まで乗りそのまま乗り換えすることなく南丹病院まで行けるため、園篠線沿線地域の住民の利用がある。
- ・国道 9 号線沿線の八木地域の住民。

《利用状況》

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
利用者数 (人)	1,101	1,332	1,648	835	314	331

→平成 25 年 10 月より運行ルートを変更したため、利用が減っている。

《経費》

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
補助金額 (千円)	2,818	2,948	3,429	3,026	3,012	3,019

※平成 25 年度に運行ルートを変更したため経費が減少。

※平成 26 年度で経費が大幅に減少しないのは、平成 25 年度に車両の更新をしたため。

《課題》

- ・利用者が少なく一人当たりの経費が高額である。
- ※しかし、園部八木線の運行がなければその分の経費が園篠線に加算される。

◆ぐるりんバス：((有) 中京交通)

《運行区間》

- ①市街地循環線：a 園部駅西口－大学校前－横田－本町－園部駅西口
 b 園部駅西口－小山西町－横田－市役所前－大学校前－園部駅西口
- ②摩気（スクール）・園部東部線：
 a 口司－半田－横田－市役所前－園部駅西口
 b 園部駅西口－瓜生野－船岡駅－佐切公民館－船岡駅－瓜生野－園部駅西口
- ③西本梅スクール・癒しの森線：
 a 奥るり溪－南八田、南八田－観音口－殿谷口－南八田
 b 西小前－殿谷口－観音口－西小前－南八田－大河内－南八田

《運行方式》 南丹市による運行委託

《運行本数》 別紙「時刻表」のとおり

《利用者層》

- ①通勤・通学での利用者、市街地（市役所周辺）を訪れる方、園部駅－市街地間を利用する方。
 ②摩気地域、元桐地域、川辺地域住民の生活交通として利用。
 H27年度からはスクール利用はなくなった。
 ③園部中学校の生徒の登下校便として利用。
 西本梅地域住民の生活交通として利用。
 るり溪への観光客が利用。

《利用状況》

利用者数 単位：人

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
①市街地循環線	40,425	47,744	45,605	49,934	43,306	43,633
②摩気・園部東部線	15,799	16,612	17,558	15,914	17,190	8,668
③西本梅スクール・癒しの森線	21,212	19,993	18,320	16,835	15,023	5,246
合計	77,436	84,349	81,483	82,683	75,519	57,547

→減少傾向

《経費》

単位：千円

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
委託料	39,673	40,184	40,893	40,905	42,480	39,481
府補助金	12,239	12,461	12,829	13,392	15,066	15,642
交付税	11,288	11,164	11,198	11,170	11,340	4,388
実質市負担額	16,146	16,559	16,866	16,343	16,074	19,451

→消費税増税、燃料の高騰により経費は年々増加傾向にあったが、平成 27 年度は下落に転じた。

《課題》

- ・市街地循環線は、通勤・通学に対応したダイヤ編成となっているが、それ以外の時間帯での充実を求める声もある。（平成台、小山西町、本町、小桜町等）
- ・摩気・園部東部線は、運行本数が少なく、通勤・通学にも対応していない。工場団地「京都新光悦村」への通勤対応便を求められている。

- ・西本梅スクール・癒しの森線は、一般ダイヤ以外に園部中学校への登下校特別便も運行している。通勤・通学には対応していない。八田線と接続する形でり溪への観光便として機能しているが、観光サイドからは園部駅からり溪への直通便を求められている。

◆園福線（JRバス）

- 《運行区間》 園部駅東口－桧山－福知山
- 《運行方式》 民間運行（運行補助なし）
- 《運行本数》 13本、13本（園部駅発着便のみ）
- 《利用者層》 通勤・通学与沿線住民の生活交通として利用など

八 木 地 域

◆神吉線・原神吉線

- 《運行区間》 八木駅前－神吉口、八木駅前－神吉口－原
- 《運行方式》 民間運行：国庫補助路線（南丹市・亀岡市・京都市補助：15人格上・11/20格上・査定補助）
- 《運行本数》 神吉線：5本・4本、原神吉線：3本・3本
- 《利用者層》

- ・神吉地域から八木中学校に通う生徒の利用がほとんど。
- ・沿線地域住民の生活交通として利用。
- ・越畑方面への観光客の利用。（越畑フレンドパーク・愛宕山登山）

《利用状況》 利用者数 単位：人

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
神吉線	8,214	8,202	5,708	5,767	5,726	6,084
原神吉線	13,091	11,937	12,365	11,852	10,200	9,338

→年々利用者が減少している。

《経費》 補助金額 単位：千円

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
神吉線	4,318	4,636	6,099	6,204	6,342	6,376
原神吉線	1,271	1,419	1,058	1,175	1,713	2,102
合計	5,589	6,055	7,157	7,379	8,055	8,478

→年々補助金額が増加している。

《課題》

- ・沿線地域の住民の利用がほとんどであるが、もともと利用者が少ない。
- ・八木中学校の生徒の利用に負うところが大きく、一人減少するだけでも補助金額に大きな影響がある。
- ・観光客の利用もあるが、観光地として集客したり、イベント開催で集客するにはPR材料の少ない地域である。
- ・国庫補助金を受けるために沿線自治体により15人収入まで格上げ補助をおこなっているが、年々市の補助金額が増加している現状であり、今後さらに膨らむ予測である。

- ・このままでは国庫補助を受けることも厳しくなり、市の負担が大きくなる中、路線の維持ができなくなる可能性がある。
- ・現在、沿線市町と南丹市で利用促進策を実施している。

◆デマンドバス（京都タクシー・南丹タクシー）

《運行区間》

- ①観音寺・屋賀線：八木駅－勤労者福祉会館前－屋賀上区集会所
- ②鳥羽・池ノ内線：八木駅－勤労者福祉会館前－池ノ内
- ③柴山・大藪線：八木駅－勤労者福祉会館前－八進フード前
- ④美里・日置線：八木駅－勤労者福祉会館前－日置－園部駅西口

《運行方式》南丹市による運行委託

《運行本数》各路線で 10 本

《利用者層》

- ・高齢者を中心に自家用車を運転しない方、免許証を返納した方などが利用。
- ・柴山・大藪線では、あけぼの学園通所者の利用が多くある。

《利用状況》

単位：人

年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
①観音寺・屋賀線	499	640	752	786
②鳥羽・池ノ内線	382	527	381	119
③柴山・大藪線	560	536	691	881
④美里・日置線	—	1,999	2,827	2,671
合計	1,441	3,702	4,651	4,457

《経費》

委託料 単位：千円

年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
委託料 (千円)	—	2,560	6,837	9,578	9,348
次年度準備経費	840	—	—	—	—

《課題》

- ・平成 24 年度の導入以来路線も増やし、利用も増加している。
- ・八木地域はタクシー事業者が 2 社で車両台数も多く、導入当初より片道 10 便（1 時間ごと）の便数でダイヤを組んでいるため利用しやすくなっている。

※デマンドを導入している地域の中では一番便利だが、この地域の特性として、「予約が不便」「時間がかかる」「予約時間の締切が早い」などの不満も多い。

- ・ルート設定も平成 25 年 10 月（美里・日置線）と平成 26 年 10 月（観音寺・屋賀線）に要望により改善を行っている。
- ・しかし、地域からの要望として「土日祝」の運行や予約締切時間の改善などの声を聞く。
- ・神吉地域には京阪京都交通線の神吉線・原神吉線が運行しているためデマンドバスの路線はないが、神吉地域住民より料金の差があり不公平との声の一部出ている。

日 吉 地 域

◆市営バス

《運行路線》

①五ヶ荘線 ②世木線 ③胡麻線・志和賀線 ④日吉ダム線

《運行方式》 南丹市直営（道路運送法第 79 条による自家用旅客運送：交通空白輸送者の登録）
スクール混乗方式

《運行本数》 「時刻表」のとおり

《利用者層》

- ・市内小中学校の児童生徒のスクールバス利用
- ・高校生の通学
- ・通勤・通学利用
- ・特に高齢者や障害者の日常生活交通として利用
- ・観光地への交通として観光客が利用（日吉ダムなど）

《利用状況》

利用者数 単位：人

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
日吉バス	82,644	74,284	74,758	70,842	64,995	68,219
美山バス	157,603	152,117	158,964	151,726	137,240	138,077
合計	240,247	226,401	233,722	222,568	202,235	206,296

《経費》日吉・美山で按分が不可のため一括で記載

単位：千円

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
経費	118,315	145,808	122,286	119,997	143,433	123,569
歳入（繰入金除く）	44,876	49,064	46,714	51,482	68,554	53,572
交付税	56,440	55,820	55,990	61,435	62,370	62,900
実質市負担額	16,999	40,924	19,582	7,080	12,509	7,097

《市営バス全体の課題》

- ・路線が多く、乗り継ぎ箇所も多いため時刻表が複雑で分かりにくく利用しづらい。
- ・重複した料金表（条例）の設定や乗継割引対象の停留所を設定するなど料金体系がわかりづらい。特に、「乗継割引」により行きと帰りで料金が異なる場合が多々ある。
- ・低予算での運行のため設備投資できず、両替や運賃確認、行先確認、案内など運転手による作業が多く煩雑で間違いが起きやすい。
- ・小中学生の登下校便を基本にしたダイヤ編成が必要であり、大胆な変更が難しい。
- ・日吉地域から園部方面への買物便のニーズがあるが、実現していない。
- ・人口減少や自家用車の普及で公共交通（特にバス）を利用する人が減少する中、高齢化が進展しこれまで路線バスに乗っていた方もバスに乗ることが困難（身体的理由）な状況も現れている。公共交通に福祉サービスの側面も期待されている。（より個別的な対応へ）
- ・近年では外国人観光客の利用が季節的に増大し、運行体制の強化（増便等）で対応しているが、今後の増加の程度が読めない部分もある。
- ・バスの案内や表示等が外国人観光客に対応できておらず、運転手も苦慮しながら運行している

る。

◆デマンドバス

《運行区間》

- ①胡麻線：日吉駅－国際医療大学病院前－胡麻駅－国際医療大学病院前－日吉駅
- ②志和賀線：国際医療大学病院前－日吉駅－志和賀－日吉駅－国際医療大学病院前
- ③中世木線：国際医療大学病院前－日吉駅－東牧山・西牧山－日吉駅－国際医療大学病院前
- ④生畑・海老谷線：国際医療大学病院前－日吉駅－生畑－海老谷－日吉駅－国際医療大学病院前

《運行方式》 南丹市による運行委託

《運行本数》 各路線で4本

①②は月水金、③④は火木運行

《利用者層》

- ・高齢者を中心に自家用車を運転しない方、免許証を返納した方などが利用。
- ・一度利用した方がリピートして利用されるケースが多く、平成26年度には中世木、胡麻地域が飛躍的に増加している。

《利用状況》

単位：人

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
①胡麻線	6	69	71	170	217
②志和賀線	2	35	64	53	70
③中世木	19	80	99	140	181
④生畑・海老谷線	8	10	5	5	0
合計	35	194	239	368	468

《経費》

委託料 単位：千円

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
委託料	2,644	1,821	2,003	2,566	2,819

※H23年度分は、予約受付センター費用（3,255千円）を美山と按分1/2を加算

《課題》

- ・日吉地域にはタクシー事業者が1社で車両が1台のため、全路線毎日運行ができず、曜日を分け隔日運行にしている。
- ・日吉地域は市営バスが日吉地域全域に運行しており、ダイヤが重複しないよう設定している。重複する部分は市営バスの運行を間引いている。
- ・運行便数が4便と少なく、ルートも1台で回れるルート設定にしているため、様々なニーズに応えることはできていない。

◆市営バス

《運行路線》

- ⑤美山園部線 ⑥京北線 ⑦知井線 ⑧大野線 ⑨鶴ヶ岡線 ⑩福居線 ⑪知見線 ⑫芦生線
⑬佐々里線 ⑭河内谷線 ⑮宮島線 (⑯川谷線)

《運行方式》 南丹市直営 (道路運送法第 79 条による自家用旅客運送：交通空白輸送者の登録)

《運行本数》 「時刻表」のとおり

《利用者層》

- ・市内小中学校の児童生徒のスクールバス利用
- ・高校生の通学
- ・通勤・通学利用
- ・特に高齢者や障害者の日常生活交通として利用
- ・観光地への交通として観光客が利用 (かやぶきの里など)

《利用状況》

利用者数 単位：人

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
日吉バス	82,644	74,284	74,758	70,842	64,995	68,219
美山バス	157,603	152,117	158,964	151,726	137,240	138,077
合計	240,247	226,401	233,722	222,568	202,235	206,296

《経費》日吉・美山で按分が不可のため一括で記載

単位：千円

年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
経費	118,315	145,808	122,286	119,997	143,433	123,569
歳入 (繰入金除く)	44,876	49,064	46,714	51,482	68,554	53,572
交付税	56,440	55,820	55,990	61,435	62,370	62,900
実質市負担額	16,999	40,924	19,582	7,080	12,509	7,097

《市営バス全体の課題》

- ・路線が多く、乗り継ぎ箇所も多いため時刻表が複雑で分かりにくく利用しづらい。
- ・重複した料金表 (条例) の設定や乗継割引対象の停留所を設定するなど料金体系がわかりづらい。特に、「乗継割引」により行きと帰りで料金が異なる場合が多々ある。
- ・低予算での運行のため設備投資できず、両替や運賃確認、行先確認、案内など運転手による作業が多く煩雑で間違いが起きやすい。
- ・小中学生の登下校便を基本にしたダイヤ編成が必要であり、大胆な変更が難しい。
- ・人口減少や自家用車の普及で公共交通 (特にバス) を利用する人が減少する中、高齢化が進展しこれまで路線バスに乗っていた方もバスに乗ることが困難 (身体的理由) な状況も現れている。公共交通に福祉サービスの側面も期待されている。(より個別的な対応へ)
- ・近年では外国人観光客の利用が季節的に増大し、運行体制の強化 (増便等) で対応しているが、今後の増加の程度が読めない部分もある。
- ・バスの案内や表示等が外国人観光客に対応できておらず、運転手も苦慮しながら運行している。

◆デマンドバス

《運行区間》

- ①鶴ヶ岡線：洞公民館－宮島診療所－美山支所－美山診療所
- ②大野・長谷線：下檜原－美山支所－宮島診療所－美山診療所
- ③深見線：美山診療所－深見－美山診療所
- ④知井線：佐々里－芦生－知見口－知見－知見口－美山診療所

《運行方式》 南丹市による運行委託

《運行本数》 各路線で4本

①②③は月水金、④は火木運行

《利用者層》

- ・高齢者を中心に自家用車を運転しない方、免許証を返納した方などが利用。

《利用状況》

単位：人

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
①鶴ヶ岡線	100	203	151	136	173
②大野・長谷線	240	575	666	622	649
③深見線	—	—	—	9	20
④知井線	38	65	43	43	34
合計	378	843	860	810	876

《経費》

委託料 単位：千円

年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
委託料(千円)	5,387	5,335	5,334	5,650	5,692

※H23年度分は、予約受付センター費用(3,255千円)を日吉と按分1/2を加算

《課題》

- ・美山地域は市営バスが全域に運行しており、ダイヤが重複しないように設定している。
- ・知井線導入に当って、市営バスの芦生・佐々里方面をデマンドと重複しないように間引いて運行していたため、観光客がデマンドバスを利用することがある。
- ・美山地域は運行地域が広大であるため経費が非常に高くなっている。
- ・高齢化の進展に伴って、より集落近くを運行して欲しいとの要望が次々と出てきている。